

平成 22 年度 エゾシカ越冬群の広域航空カウント (ヘリコプターセンサス) 実施結果【速報】

- ・知床半島において標高 300m 以下の調査対象地域をヘリコプターで飛行し、上空からエゾシカの頭数や発見位置を記録した（表 1）。
- ・調査手法は 2003 年と同様、調査範囲は 2003 年時より半島基部側に拡大。標準調査区画として低標高地域（300m 未満）と予備調査区画として高標高地域（300～500m）の調査区を設置。
- ・調査は 2011 年 2 月 21 日～2 月 28 日まで、悪天候だった 2 月 27 日を除く 7 日間実施。
- ・標準調査区画で合計 3930 頭のエゾシカを確認。その内訳は、斜里側既存ユニット（1～10）で 2721 頭、新規ユニット（33～35）で 324 頭、羅臼側既存ユニット（11～20）で 794 頭、新規ユニット（21～32）で 91 頭。斜里側と羅臼側で比較すると、斜里側のほうがエゾシカの数が多い傾向。
- ・新規で設定した羅臼側基部 12 ユニットにおいて確認したエゾシカの数は合計 91 頭と少なかった。
- ・予備調査区画 6 ユニットで合計 2 頭のエゾシカを確認。2003 年調査と同様、エゾシカが標高 300m 以下の低標高地域に多い傾向に変更なし。
- ・2003 年と比較して、エゾシカの数は特に知床岬で減少、五湖～カムイワッカ地域で増加した。

表1. エゾエゾシカヘリコプターセンサス実施結果

ユニット区分	ユニット名	調査日	2011年の 発見頭数(A)	2003年の 発見頭数(B)	(A)-(B)	備考
斜里側 区画	(1)	2011/2/28	91	654	-563	知床岬～ルシャ
	(2)	2011/2/21	335	82	253	
	(3)	2011/2/21	279	237	42	
	(4)	2011/2/21	597	131	466	
	(5)	2011/2/21	384	113	271	カムイワッカ～幌別
	(6)	2011/2/21	322	147	175	
	(7)	2011/2/21	221	82	139	
	(8)	2011/2/23	303	246	57	
	(9)	2011/2/23	132	117	15	
	(10)	2011/2/23	57	125	-68	
小計			2721	1934	787	
標準調 査区画 標高 300m未 満の地域	(33)☆	2011/2/23	268	-	-	半島基部(斜里町)
	(34)☆	2011/2/26	44	-	-	
	(35)☆	2011/2/26	12	-	-	
	小計			324	-	
	(11)	2011/2/28	115	216	-101	知床岬～ルサ川
	(12)	2011/2/22	176	152	24	
	(13)	2011/2/22	108	90	18	
	(14)	2011/2/22	21	12	9	
	(15)	2011/2/23	64	65	-1	
羅臼側 区画	(16)	2011/2/23	100	53	47	ルサ川～羅臼川
	(17)	2011/2/23	34	70	-36	
	(18)	2011/2/23	42	6	36	
	(19)	2011/2/23	42	31	11	
	(20)	2011/2/23	92	43	49	
	小計			794	738	56
	(21)☆	2011/2/23	58	-	-	春刈古丹川～植別川
	(22)☆	2011/2/24	0	-	-	
	(23)☆	2011/2/24	0	-	-	
	(24)☆	2011/2/24	0	-	-	
	(25)☆	2011/2/24	0	-	-	
予備調査区画 高標高地域 300～500m	(26)☆	2011/2/24	0	-	-	半島基部(標津町)
	(27)☆	2011/2/24	3	-	-	
	(28)☆	2011/2/24	24	-	-	
	(29)☆	2011/2/24	2	-	-	
	(30)☆	2011/2/24	0	-	-	
	(31)☆	2011/2/24	2	-	-	
	(32)☆	2011/2/24	2	-	-	
	小計			91	-	
	1-S	2011/2/28	2	3	-1	知床岬山間部
	4-S	2011/2/21	0	6	-6	硫黄岳麓
	11-S	2011/2/28	0	0	0	知床岬山間部
	小計			2	9	-7
	8-S☆	2011/2/26	0	-	-	遠音別岳麓
	14-S☆	2011/2/25	0	-	-	知円別岳麓
	19-S☆	2011/2/23	0	-	-	遠音別岳麓
	小計			0	-	

☆は新規調査ユニットを示す。

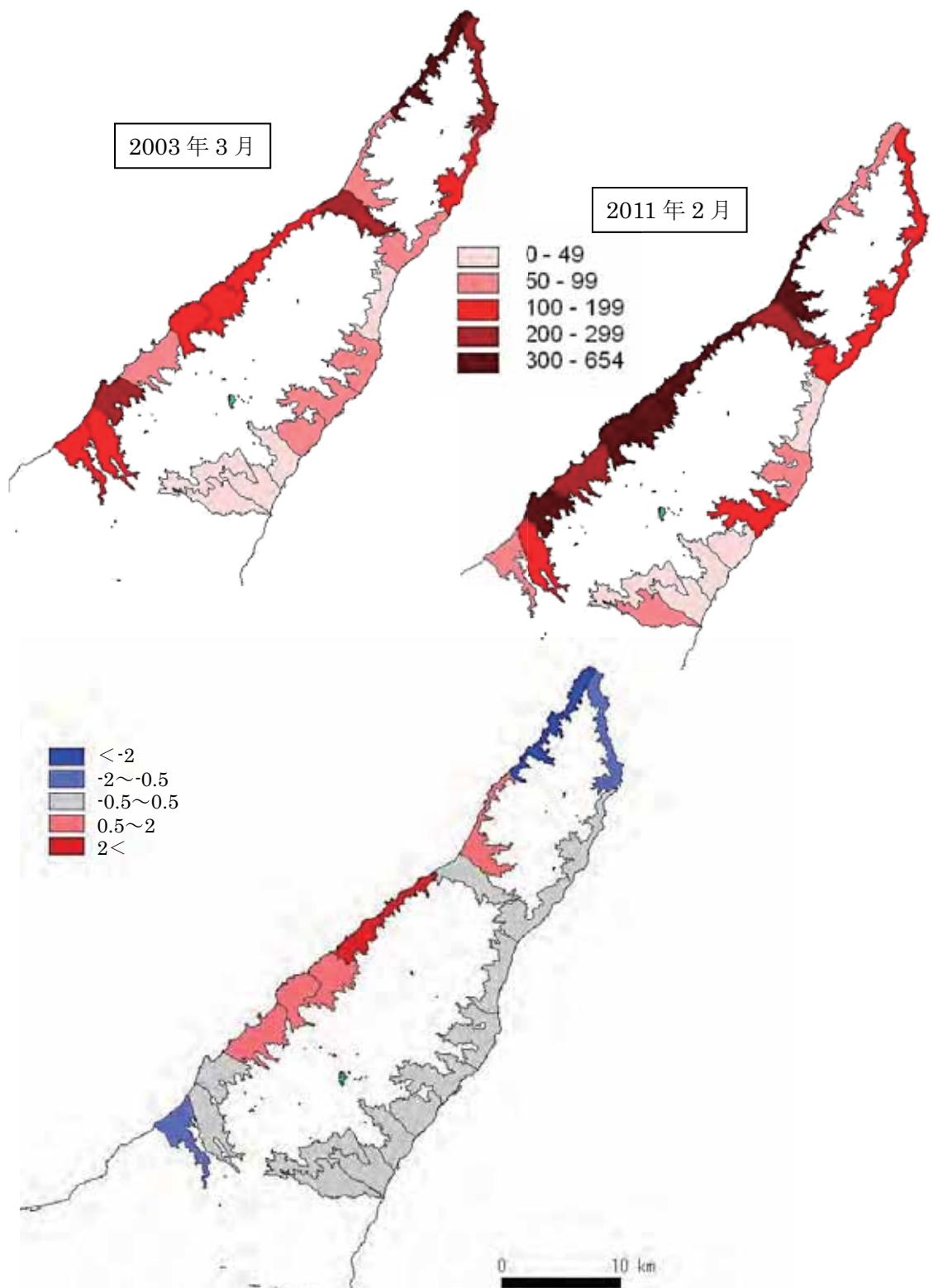


図 1. 知床半島でのエゾエゾシカ航空カウント結果。2003年3月（左上）、2011年2月（右上）と、その比較（下）。比較は $((2011\text{年値}) - (2003\text{年値})) / (2003\text{年ユニット標準偏差})$ で表し、青が減少傾向、赤が増加傾向、灰色はほとんど変化なし。